

一般社団法人日本きのこマイスター協会令和4年度通常総会  
「包括連携協定締結記念講演会」

## きのこの機能性最新情報ときのこの魅力

東京農業大学 学長 江口文陽

### 【講演概要】

きのこは、私たちの生活にとって役立つパワーが備わっています。きのこは、食物連鎖のピラミッドの中で分解者に分類される生き物です。森や草原の落ち葉、小枝、倒木などを分解して良質な肥料にしてくれる「森の掃除屋」としての役割も担っています。きのこの持つ環境浄化作用とヒトの健康増進に対してはたらく機能は、生態=生体の修復として共通性があるように私は考えています。

高齢社会の到来で、医療費の負担が巨大化する一方、新しい健康問題に対応してわが国では、「生活習慣」が疾病の発症や進行に深く関わっているとし、予防を重視する観点から生活習慣病という概念を導入して国民の生活習慣の改善を進めています。

機能性きのこには、疾病の予防や治療に効果を示すことが医科学的に確認されているものもあり、消費者の注目度は高いのです。しかしながら、医師などの中には日常習慣食として疾病の予防や改善に対してきのこなどの食品利用に対する慎重論があるのも事実です。

なぜならば、特定のきのこで医療科学的評価をもとに効能が確認されたからといって、その効能が、同一名のきのこすべてに対しての科学的保証につながるものではないからです。機能性きのこは、健康維持および医師によって処方される薬の治療効果を相乗・相加的に高める結果も確認されています。したがって、漢方薬や東洋医学を否定的に考えていた西洋医学中心の医師や医療関係者の中にも、代替・相補・伝統医療の良い面を積極的に取り入れようとする動きが見られます。例えば癌の処置などにおいて、外科的治療の前後や化学療法・放射線療法・ホルモン療法などの治療と並行して生薬や民間薬として利用してきたきのこを疾病の治療に取り入れることも多くなっています。医師が医薬品と併用して信頼性を持って患者に進められるきのこはいかなるものでしょうか。それは、医学的・栄養科学的に認められる本格的な基礎医学や栄養科学の研究が行われた製品であり、体験談のみの報告ではない事が肝心です。特に、ヒトの疾患と類似したモデル動物を用いて用量依存的にさらには疾患の進行ステージでの効能解析を実施した研究は、きのこの機能性科学を飛躍的に進展させるものと考えます。

医師・薬剤師・管理栄養士・科学者および真実を追求する目を備えた消費者は、治療効果の判断に肝心の飲用者の病歴、医師による処置、きのこの摂食量と期間、疾病の改善を評価した臨床医学に基づく検査値がきのこを評価するための重要な情報であると

認識することが必要です。薬効薬理学的・臨床栄養学的な評価系による試験の結果を集積し、科学的に確認することが不可欠です。

本講演においては、実際に私たちの研究室が行った安定栽培法が確立した数種機能性のこの子実体抽出物質等を用いた効能効果や調理手法によるきのこの機能性の変化などを紹介します。

今回の講演は、日本きのこマイスター協会、中野市農協と東京農業大学の3組織が包括連携協定を締結したことで機会を頂いたものです。包括連携を機能させ3組織が地域振興やきのこなどの特用林産物をはじめ農産物の生産の拡大と収益性を高めるための考え方、国消国産を推進し食料自給率を高めるとともにきのこマイスターなどの資格者が活躍する意義と消費者への確かな情報発信の重要性についてお話したいと考えます。

このような機会を頂きました一般社団法人日本きのこマイスター協会の前澤憲雄理事長をはじめ、中野市農協の望月隆組合長、関係各位に心からご挨拶申し上げます。

#### 【講師略歴】

1965年群馬県生まれ、1993年東京農大院博士後期課程修了、博士(林学)。日本学術振興会特別研究員、医薬系大学研究員、高崎健康福祉大助教授、教授を経て2012年東京農業大学教授、2016年「食と農」の博物館長、2020年森林総合科学科長。2021年から東京農業大学学長。社会的活動として日本きのこ学会会長、応用薬理シンポジウム会長、日本木材保存協会理事、ミラノ万博日本館サポーター、JSPS 学術システム研究センター専門研究員などを歴任。農大貢献賞、日本木材学会賞、森喜作賞、且尾賞、中川威夫奨励賞、日本きのこ学会奨励賞などを受賞。

#### ★参考までに・・・東京農業大学学長江口文陽が推進する施策

- ①農学を牽引する教育・研究
- ②フィールド科学を重視した実学教育
- ③農ある風景のキャンパスづくり
- ④ブランド力発信のための即時戦略
- ⑤国際化を推進（人材を世界に広げる計画）
- ⑥アントレプレナー教育による学生のためのイノベーション戦略
- ⑦食育・栄養・メンタル・健康を強化・増進する学生教育・課外活動教育